

8. 学部・学科ポリシー／卒業要件／履修科目一覧

薬学部

8-9 薬学科

8-9 薬学部 薬学科

8-9-1 教育研究上の目的

薬学部教育研究上の目的

薬学の分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、薬学の実践を担いうる応用能力及び豊かな人間性を備えた医療人としての薬剤師等の人材を育成する。

薬学部薬学科教育研究上の目的

薬学科は、薬学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、「くすり」に対する専門的な知識と、臨床現場で発揮される高い能力、技術を備え、調剤した「くすり」の適切な説明や薬物療法について、的確なアドバイスができる薬剤師の育成を目的とする。

8-9-2 アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、薬剤師として、豊かな心、コミュニケーション能力、新しい知識の追求に向けた関心や意欲を持ち、日々進化する薬物療法における高度化・専門化及び国際化に対応し、学びを深めるための科学的根拠に基づく論理的な思考力を身につけることが期待できる人

2. 薬学科の入学者に求める要件

1) 知識・技能

高等学校等で学んだ教科に相応した基礎知識と、化学等の理数系科目の修得を通して身につけた科学的な思考力・理解力、また、語学系科目（英語）の修得を通して身につけた読解力を有していること。

2) 思考力・判断力・表現力

薬剤師に必要な新しい知識を学ぶ意欲及び主体的な目標設定をもとに努力を継続する力、自ら思考し、判断したことを適切に表現する力を有していること。

3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

本学の基本理念及び教育理念を十分理解し、薬剤師として「共に生きる社会」の実現に寄与する意志を持つ人、他者と協調的に連携を図り、地域とのつながりを大切に考え、薬学の発展に貢献したいという強い意欲をもとに自他ともに研鑽しあう意志を持つ人であること。

8-9-3 ディプロマ・ポリシー

薬学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1：薬学に関する基礎および専門的な知識・技能をバランスよく有している。

DP2：問題の発見から解決までの一連のプロセスの中で、必要な情報を収集し、科学的根拠に基づき論理的に考え行動できる。

DP3：医療人を目指す者として、人間理解、国際的感覚を養い、相手に寄り添ったコミュニケーションを実施できる。

DP4：薬剤師を目指す者として、使命感・倫理観・責任感を養い、他職種との連携を通して薬剤師の役割を理解、実践できる。

DP5：保健・医療・福祉について、日本にとどまらず世界の情勢を広く理解し、地域に貢献する姿勢と実践能力を有している。

DP6：医療の担い手を目指す者として、幅広い教養と豊かな人間性を育み、生涯にわたって自己とともに研鑽しあえる姿勢および意欲を有している。

DP7：生命科学的知識および研究マインドを基に、薬物療法を実践する能力を有している。

8-9-4 カリキュラム・ポリシー

薬学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1 :

- a.薬学の専門家として必要な知識・技能を修得するために、講義、演習、実習を相互に関連付けて科目を配置する。
- b.薬物治療の実践的能力を高めるために、知識・技能を統合した能動的学修を実施する。

CP2 :

- a.問題発見から解決する能力および科学的根拠に基づいた論理的思考力を養うために、問題解決型学修（PBL）をはじめとする能動的学修を講義、演習、実習で実施する。また、参加型実践的科目として卒業研究を配置する。
- b.薬剤師として臨床での総合実践能力を身につけるために、参加体験型学修である実務実習を行う。

CP3 :

- a.医療人としてのコミュニケーション能力を養成するために、ロールプレイを含む参加型実習を行う。
- b.薬剤師の役割を理解するために、他職種との連携教育を実施する。

CP4 :

- a.薬剤師としての使命感・倫理観・責任感および豊かな人間性を涵養するために、スモールグループディスカッション（SGD）等を含めた講義、演習、体験実習を配置する。
- b.国際的な感覚を養うために、世界の保健福祉事情に触れ、語学能力を高める機会を設ける。
- c.生涯にわたり自ら研鑽できる医療の担い手になるために、ポートフォリオを用いた形式的自己評価の機会を設ける。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

8-9-5 教育目標（アウトカム）

薬学科では、次に掲げる学科ディプロマ・ポリシーに対応する教育目標（アウトカム）について、学生による自己評価と教員によるフィードバックを毎学年定期に行い、ディプロマ・ポリシーに定める能力・資質の到達度を形成的に評価する。詳細については、別途配布する評価マニュアルを参照のこと。

<DP1に対応する教育目標>

- ・薬学に関する基礎および専門的な知識・技能をバランスよく有している。

<DP2に対応する教育目標>

- ・問題解決のプロセスに関する学びやアクティブラーニングを通じて、問題解決に必要なスキルを修得する。
- ・医療人として必要なデータサイエンス・AI技術・データリテラシーを身に付ける。
- ・実習や卒業研究を通じて科学的根拠に基づき論理的に考え、問題発見・解決能力を有する。

<DP3に対応する教育目標>

- ・医療人を目指す者として、相手に寄り添ったコミュニケーションを実施できる。
- ・国際的感覚の涵養と、それに基づくコミュニケーションを実施できる。

<DP4に対応する教育目標>

- ・薬剤師を目指す者としてふさわしい使命感・倫理観・責任感がある。
- ・関連職種との連携の必要性を理解し、チームの一員として薬剤師の職能を発揮できる。

<DP5に対応する教育目標>

- ・日本および国外の保健・医療・福祉について理解する。
- ・母国語以外の言語でコミュニケーションをとることができる。
- ・地域医療、地域貢献や国際的な活動に取り組む姿勢がある。

<DP6に対応する教育目標>

- ・薬学生としての幅広い教養が身についている。
- ・豊かな人間性を育み、生涯にわたって自他ともに研鑽しあえる姿勢および意欲を有している。

<DP7に対応する教育目標>

- ・生命科学的知識および研究マインドを基に、薬物療法を実践する能力を有している。

8-9-6 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-9-9 授業科目一覧」を参照してください。

(1) 卒業に必要な単位数【薬学科 2025（令和7）年度入学生】

授業科目の区分			最 低 単 位 数		
			必 修	選 択	
総合教育科目	人間系		4単位	総合教育科目から 3単位以上 (外国語系から3単位以上または5単位以上) ※1	総合教育科目 および 専門教育科目 の中から 9単位以上 (8単位以上) ※1
	社会系		3単位		
	自然・情報系		8単位		
	総合系		1単位		
	外国語系		4単位 (5単位) ※1		
	保健体育系				
	小 計		20単位 (21単位) ※1	3単位以上 (3単位以上または5単位以上) ※1	
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	5単位		9単位以上 (8単位以上) ※1
		学科専門基礎	12単位		
		小 計	17単位		
	専門科目		142単位		
	小 計		159単位		
合 計			179単位 (180単位) ※1	12単位以上 (11単位以上または13単位以上) ※1	
総 計			191単位以上 (191単位以上または193単位以上) ※1		

※1 () 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-10 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

履修すべきすべての必修科目 179 単位（留学生は 180 単位）を修得していること。必修科目と選択科目の総単位数が 191 単位以上（留学生は 191 単位以上または 193 単位以上）である場合には卒業できる。

【進級条件（留学生以外）】

(1) 1 学年から 2 学年への進級条件

- ① 1 学年必修科目 (34 単位) のうち、すべての実習科目 (2 単位) を含む 28 単位以上修得していること。

(2) 2 学年から 3 学年への進級条件

- ① 1 学年必修科目 (34 単位) のすべてを修得していること。
- ② 2 学年必修科目 (43 単位) のうち、すべての実習科目 (4 単位) を含む 37 単位以上修得していること。
- ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。

(3) 3 学年から 4 学年への進級条件

- ① 2 学年までの必修科目 (77 単位) のすべてを修得していること。
- ② 3 学年必修科目 (40 単位) のうち、すべての実習科目 (4 単位) を含む 34 単位以上修得していること。
- ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。

(4) 4 学年から 5 学年への進級条件

- ① 3 学年までの必修科目 (117 単位) のすべてを修得していること。
- ② 4 学年必修科目 27 単位のうち、「臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）」を除く 26 単位のすべてを修得していること。
- ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。

進級した場合：

前年次の不合格必修科目については、受講し、定期試験を受け、単位を修得すること。

留年した場合：

- ① 合格した科目の単位は認められる。
- ② 不合格の必修科目は再履修しなければならない。
- ③ 不合格になった選択科目は、新たに希望して選択するものとする。
- ④ 在学年限について：同一学年における在学年数を 2 年以内とする（休学期間を除く）。但し、5、6 学年は通算で 4 年間在籍できる。

【留学生の進級条件】

(1) 1 学年から 2 学年への進級条件

- ① 1 学年で履修できる外国語系科目を除く必修科目32単位と日本語科目2単位（必修/選択を問わない）を合わせた34単位のうち、すべての実習科目（2単位）を含む28単位以上の必修科目を修得していること。

(2) 2 学年から 3 学年への進級条件

- ① 1 学年で履修できる必修科目のうち34単位を修得していること。
※2学年終了時までには日本語必修科目2単位の修得が必要である。
- ② 2 学年で履修できる必修科目43単位（日本語必修科目2単位含む）のうち、すべての実習科目（4単位）を含む37単位以上修得していること。
- ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。

(3) 3 学年から 4 学年への進級条件

- ① 2 学年までに履修できる必修科目77単位を修得していること。
※3学年終了時までには日本語必修科目4単位の修得が必要である。
- ② 3 学年で履修できる必修科目40単位のうち、すべての実習科目（4単位）を含む34単位以上修得していること。
- ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。

(4) 4 学年から 5 学年への進級条件

- ① 3 学年までに履修できる必修科目117単位を修得していること。
- ② 4 学年必修科目27単位のうち、「臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）」を除く26単位のすべてを修得していること。
- ③ 4 学年終了時までには日本語必修科目5単位すべてを修得していること。
- ④ 以上、①②③のすべての条件を満たしていること。

進級した場合：

前年次の不合格必修科目については、受講し、定期試験を受け、単位を修得すること。

留年した場合：

- ① 合格した科目の単位は認められる。
- ② 不合格の必修科目は再履修しなければならない。
- ③ 不合格になった選択科目は、新たに希望して選択するものとする。
- ④ 在学年限について：同一学年における在学年数を2年以内とする（休学期間を除く）。但し、5、6学年は通算で4年間在籍できる。

8-9-8 科目履修条件

(1) 5、6 学年において実務実習を履修するための条件

- ① 共用試験（CBT、OSCE）に合格すること。
- ② 実務実習生にふさわしい知識・技能・態度のバランスがとれていること。

☑ CHECK ☑

共用試験（CBT、OSCE）

- CBT : Computer Based Testing
- OSCE : Objective Structured Clinical Examination

共用試験（CBT、OSCE）は、5、6 年次に実施される実務実習を履修するための条件となる。

- 共用試験の中のCBTは知識を問う試験で、コンピュータを活用した多肢選択式試験となっています。薬学教育モデル・コアカリキュラムの範囲から多くの問題が備蓄されており、無作為に出題される310問を6時間で解きます。
- 共用試験の中のOSCEは参加型実務実習（病院・保険薬局）を行うにあたって、必要とされる態度・技能（臨床能力）がためられる実技試験であり、6種類のステーションの中にそれぞれ、課題が含まれています。

(2) 日本語科目の履修条件（留学生のみ）

- 1 学年： 日本語プレイスメントテストの結果により、レベルに合った科目を 2 科目以上履修すること
- 2 学年： 日本語必修科目を 2 科目以上履修すること
2 学年終了時までには日本語必修科目を 2 単位以上修得していること
- 3 学年： 3 学年終了時までには日本語必修科目を 4 単位以上修得していること
- 4 学年： 4 学年終了時までには日本語必修科目 5 科目をすべて修得すること

8-9-9 授業科目一覧（総合教育科目：薬学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0101-77C
		演劇論	1 2 3 4 5 6	1	15		TP-0102-77C
		心理学	1	2	30		TP-0104-11B
		哲学	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0105-77C
		コミュニケーション概論	1	2	30		TP-0106-11B
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0107-77C
		人間学	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0108-77C
		歴史学	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0109-77C
		倫理学	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0110-77C
		宗教学	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0111-77C
		日本近現代史	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0112-77C
		文化人類学	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0113-77C
		教育学	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0114-77C
		教育方法論	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0115-77C
		死生学・死を通して生を考える・	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0116-77C
		生きがい論	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0117-77C
	社会系	法学	1	2	30		TP-0201-11B
		日本国憲法	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0202-77C
		法と道徳・倫理	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0203-77C
		社会学	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0206-77C
		日本政治経済論	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0207-77C
		マスメディア論	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0208-77C
		福祉経済学	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0217-77C
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0212-77C
		国際関係論	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0223-77C
		世界の経済	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0220-77C
		国際医療福祉論	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0224-77C
		組織運営管理論	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0222-77C
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2 3 4 5 6	1	30		TP-0226-72B
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3 4 5 6	1	45		TP-0227-72H
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	4	1	30		TP-0228-14B
		地球環境論	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0229-77C
		ボランティア論	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0230-77C
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0231-77C
		手話入門	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0232-77C
		経済の仕組み	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0218-77C
		経済の歴史	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0219-77C
	自然・情報系	統計学	1	2	30	必修科目として別にあるため選択しないこと	TP-0301-71C
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0304-77C
		数学	1	2	30		TP-0305-11B
		物理学	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0306-77B
		化学	1	2	30		TP-0309-11A
		生物学	1	2	30		TP-0312-11A
		コンピュータの基礎	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0314-77C
		データリテラシー	1	1	30		TP-0318-11E
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4 5 6	1	30		TP-0320-72F
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4 5 6	1	30		TP-0321-72F
		医療必修・医療の倫理とプロ意識・医療情報・	1	1	30		TP-0323-11B
		医学／医療史	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0324-77C
		人間工学	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0325-77C
	総合系	大学入門講座・医療人・社会人として成長するために・	1	1	30		TP-0401-11B
		郷土論～栃木学～	1 2 3 4 5 6	1	15		TP-0402-77C
		医療福祉教養講義	1 2 3 4 5 6	1	15		TP-0403-77C
		メディカルマナー入門	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0404-77C
		総合講義・超高齢社会で認知症と向き合うー	1 2 3 4 5 6	1	15		TP-0405-77C
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4 5 6	1	15		TP-0406-77C
		食と人間	1 2	1	15		TP-0407-77C
		持続可能な発展	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-0409-77C
		ボランティア実践	1 2 3 4 5 6	1	15		TP-0412-77I

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1	30		TP-0501-11E
		英語講読 2 (Basic)	2	1	30		TP-0502-12E
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4 5 6	1	30		TP-0503-82F
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4 5 6	1	30		TP-0504-82F
		英語 CALL1 (Primary)	1	1	30		TP-0505-11E
		英語 CALL2 (Basic)	2	1	30		TP-0506-12E
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0514-70F
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0515-70F
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4 5 6	1	30		TP-0516-82F
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4 5 6	1	30		TP-0517-82F
		聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0518-70F
		聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0519-70F
		医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0520-70F
		医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0521-70F
		英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0522-70F
		英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0523-70F
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0524-70F
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0525-70F
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0527-70F
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0528-70F
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0529-70F
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0530-70F
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0531-70F
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0532-70F
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0534-80F
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0535-80F
		フランス語入門	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0601-70F
		フランス語基礎	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0602-70F
		ドイツ語入門	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0604-70F
		ドイツ語基礎	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0606-70F
		スペイン語入門	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0609-70C
		スペイン語基礎	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0610-70C
		中国語入門	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0612-70C
		中国語基礎	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0613-70C
		韓国語入門	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0616-70C
		韓国語基礎	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0617-70C
	保健	健康科学理論	1 2 3 4 5 6	1	15		TP-0701-77C
	体育系	健康科学実践	1 2 3 4 5 6	1	30		TP-0702-77I

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修する
「8-10-4 留学生用外国語系科目一覧」参照

8-9-9 授業科目一覧（専門教育科目：薬学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
専門教育科目	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	3	2	30	必修科目として別にあるため選択しないこと	TP-1001-73C
		救急医学	3 4	1	15		TP-1002-73C
		微生物と病気	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-1003-77C
		リハビリテーション概論	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-1004-77C
		関連職種連携論	2	2	30		TP-1005-12B
		看護論	1	2	30		TP-1022-71C
		ケアマネジメント論	2 3 4 5 6	1	15		TP-1006-72C
		ケースワーク論	1 2 3 4 5 6	1	15		TP-1007-77C
		医療管理学	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-1008-77C
		保健医療福祉制度論	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-1009-77C
		社会福祉学	1 2 3 4 5 6	2	30		TP-1010-77C
		臨床心理学概論	1	2	30		TP-1011-11B
		福祉支援工学概論	1 2 3 4	2	30		TP-1013-77C
		関連職種連携ワーク	3	1	30		TP-1014-13E
		関連職種連携実習	5	1	45		TP-1015-75H
		リスクマネジメント論	3 4 5 6	2	30		TP-1016-73C
		電子カルテシステム入門	2 3 4 5 6	1	15		TP-1017-72C
		レクリエーション概論	2 3 4 5 6	1	15		TP-1019-72C
	専門基礎	医療関連法規Ⅰ（医薬品全般に関わる法律）	3	1	15		TP-2B01-23A
		医療関連法規Ⅱ（医薬品開発と薬害に関する法律の理解）	4	1	15		TP-2B02-24A
		薬学演習Ⅰ（物理・化学・生物：基礎）	2	1	30		TP-2H01-22D
		薬学演習Ⅱ（物理・化学・生物：応用）	3	1	30		TP-2H02-23D
		薬学演習Ⅲ（医療倫理・ヒューマニズム）	3	1	30		TP-2H03-23D
		病原微生物学	2	2	30		TP-2C01-22A
		コミュニケーション実習	2	1	45		TP-2B03-22G
		基礎薬学実習	1	1	45		TP-2C02-21G
		公衆衛生学Ⅰ（保健統計、疫学、制度）	2	2	30		TP-2E01-22A
		公衆衛生学Ⅱ（感染症と予防）	3	1	15		TP-2E02-23A
	専門	薬学概論	1	2	30		TP-3B01-21A
		基礎統計学	1	1	15		TP-3B02-21A
		有機化学Ⅰ（脂肪族化合物1）	1	2	30		TP-3C01-21A
		有機化学Ⅱ（脂肪族化合物2）	2	2	30		TP-3C02-22A
		有機化学Ⅲ（芳香族化合物）	2	2	30		TP-3C03-22A
		生物有機化学	3	1	15		TP-3C04-23A
		生薬学	2	2	30		TP-3C05-22A
		天然物化学	2	1	15		TP-3C06-22A
		医薬品構造化学Ⅰ（コア構造と作用機構）	4	1	15		TP-3C07-24A
		医薬品構造化学Ⅱ（代表的医薬品の構造と作用）	6	1	15		TP-3C08-26A
		医薬品構造解析演習	2	1	30		TP-3C09-22D
		有機化学演習	1	1	30		TP-3C10-81F
		分析化学Ⅰ（化学平衡と滴定）	1	2	30		TP-3C11-21A
		分析化学Ⅱ（機器分析）	2	2	30		TP-3C12-22A
		分析化学Ⅲ（分離分析と臨床分析）	3	2	30		TP-3C13-23A
		薬品物理化学Ⅰ（物性とエネルギー）	1	2	30		TP-3C14-21A
		薬品物理化学Ⅱ（平衡と変化）	2	2	30		TP-3C15-22A
		放射化学	2	2	30		TP-3C16-22A
		生化学Ⅰ（生体分子）	1	2	30		TP-3C17-21A
		生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）	2	2	30		TP-3C18-22A
		分子生物学	2	2	30		TP-3C19-22A
		細胞生物学	2	1	15		TP-3C20-22A
		解剖生理学Ⅰ（器官系概論、神経系等）	1	2	30		TP-3C21-21A
		解剖生理学Ⅱ（循環器系、消化器系等）	2	2	30		TP-3C22-22A
		がん薬物療法学	3	2	30		TP-3D01-23A
		ゲノム医療	3	1	15		TP-3D02-23A
		化学療法学	3	2	30		TP-3D03-23A
		免疫学	3	2	30		TP-3C23-23A
		疾病と病態生理学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	2	2	30		TP-3D04-22A
		疾病と病態生理学Ⅱ（循環器系疾患、消化器系疾患等）	2	2	30		TP-3D05-22A
		薬理学Ⅰ（総論）	2	1	15		TP-3D06-22A
		薬理学Ⅱ（末梢神経薬理、中枢神経薬理等）	2	2	30		TP-3D07-22A
		薬理学Ⅲ（免疫・炎症薬理、循環器薬理、消化器薬理等）	3	2	30		TP-3D08-23A
		薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）	3	1	15		TP-3D09-23A
		医薬品安全性学	4	2	30		TP-3D10-24A

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
専門教育科目	専門	臨床検査医学	4	2	30		TP-3D11-24A
		薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	4	2	30		TP-3D12-24A
		薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）	4	2	30		TP-3D13-24A
		薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）	6	1	30		TP-3D14-26D
		物理薬剤学	3	1	15		TP-3D15-23A
		製剤設計とDDS	3	2	30		TP-3D16-23A
		臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3	2	30		TP-3F01-23A
		臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4	2	30		TP-3F02-24A
		臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4	2	30		TP-3F03-24A
		臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4 5	1	15		TP-3F04-24A
		薬物動態学	3	2	30		TP-3D17-23A
		臨床薬物動態学	4	2	30		TP-3D18-24A
		医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3	2	30		TP-3D19-23A
		医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	4	1	15		TP-3D20-24A
		衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2	2	30		TP-3E01-22A
		衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3	2	30		TP-3E02-23A
		環境衛生学	3	2	30		TP-3E03-23A
		日本薬局方Ⅰ（通則、総則、一般試験法）	3	1	15		TP-3C24-23A
		日本薬局方Ⅱ（代表的な医薬品の試験と生産管理）	6	1	15		TP-3C25-26A
		漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3	2	30		TP-3D21-23A
		漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4	1	15		TP-3D22-84C
		OTC 医薬品概論	3	2	30		TP-3D23-23A
		医療データサイエンス概論	4	1	15		TP-3B03-24A
		医療データサイエンス演習	6	1	30		TP-3B04-26D
		医薬品レギュラトリーサイエンス概論	6	1	15		TP-3B05-26A
		化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2	1	45		TP-3C26-22G
		化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2	1	45		TP-3C27-22G
		物理系薬学実習	2	1	45		TP-3C28-22G
		生物系薬学実習	3	1	45		TP-3D24-23G
		分子生物学実習	3	1	45		TP-3C29-23G
		免疫微生物学実習	3	1	45		TP-3C30-23G
		薬剤学実習	4	1	45		TP-3D25-24G
		フィジカルアセスメント実習	4	1	45		TP-3D26-24G
		衛生系薬学実習	3	1	45		TP-3E04-23G
		早期体験実習	1	1	45		TP-3B06-21G
		医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	4	1	45		TP-3F05-24G
		医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4	1	45		TP-3F06-24G
		医療系薬学実習Ⅲ（実務実習で必要な基本的技能）	4	1	45		TP-3F07-24G
		実務実習事前演習	4	2	60		TP-3H01-24D
		薬局実務実習	5 6	10	450		TP-3F08-35G
		病院実務実習	5 6	10	450		TP-3F09-35G
		総合薬学演習Ⅰ（薬剤師の使命を含む基礎項目の確認）	6	1	30		TP-3H02-36D
		総合薬学演習Ⅱ（理解力および問題解決能力の養成）	6	1	30		TP-3H03-36D
		卒業研究	5 6	8	360		TP-3G01-35J
		先進臨床薬学実習	6	1	45		TP-3H04-96I

薬学科DP-CPカリキュラムマップ【2025(令和7)年度以降入学生版】

●:ヒューマニズム教育
●:医療倫理教育
●:語学教育
●:医療安全教育
●:問題解決能力醸成教育
(AL):アクティブラーニングを含む
水色文字は選択科目

		ディプロマ・ポリシー(DP)						
		[DP1] 薬学に関する基礎および専門的な知識・技能をバランスよく有している。	[DP2] 問題の発見から解決までの一連のプロセスの中で、必要な情報を収集し、科学的根拠に基づき、論理的に考え、行動できる。	[DP3] 医療人としての人間理解、国際的感覚を養い、相手に寄り添ったコミュニケーションを実施できる。	[DP4] 薬剤師としての使命感・倫理観・責任感を養い、他職種との連携を通して薬剤師の役割を理解、実践できる。	[DP5] 保健・医療・福祉について、日本にとどまらず世界の情勢を広く理解し、地域に貢献する姿勢と実践能力を有している。	[DP6] 医療の担い手として幅広い教養と豊かな人間性を育み、生涯にわたって自他とともに研鑽しあえる姿勢および意欲を有している。	[DP7] 生命科学的知識および研究マインドを基に、薬物療法を実践する能力を有している。
カリキュラム・ポリシー(CP)	1 年 次	[CP1] a. 薬学の専門家として必要な知識・技能を修得するために、講義、演習、実習を相互に関連付けて科目を配置する。 b. 薬物治療の実践的能力を高めるために、知識・技能を統合した能動的学修を実施する。	数学、基礎統計学、分析化学Ⅰ、薬品物理化学Ⅰ、化学、有機化学Ⅰ、生物学、生化学Ⅰ、解剖生理学Ⅰ、基礎薬学実習(AL)、物理学、有機化学演習(AL)					
		[CP2] a. 問題発見から解決する能力および科学的根拠に基づいた論理的思考力を養うために、問題解決型学修(PBL)をはじめとする能動的学修を講義、演習、実習で実施する。また、参加型実践の科目として卒業研究を配置する。 b. 薬剤師として臨床での総合的実践能力を身につけるために、参加体験型学修である実務実習を行う。	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-●●●●(AL)、医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-●●●●●(AL)、データリテラシー(AL)、基礎薬学実習(AL)、有機化学演習(AL)					
		[CP3] a. 医療人としてのコミュニケーション能力を養成するために、ロールプレイを含む参加型実習を行う。 b. 薬剤師の役割を理解するために、他職種との連携教育を実施する。		コミュニケーション概論●●(AL)、臨床心理学概論●●(AL)				
		[CP4] a. 薬剤師としての使命感・倫理観・責任感および豊かな人間性を涵養するために、スモールグループディスカッション(SGD)等を含めた講義、演習、体験実習を配置する。 b. 国際的な感覚を養うために、世界の保健福祉事情に触れ、語学能力を高める機会を設ける。			薬学概論●●●●●(AL)、早期体験実習●●●●●(AL)、大学入門講座-医療人・社会人として成長するために●●●●●(AL)			
					薬学概論●●●●●(AL)、早期体験実習●●●●●(AL)、大学入門講座-医療人・社会人として成長するために●●●●●(AL)、医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-●●●●●(AL)、死生学-死を通して生を考える、倫理学、BLS講習(準正規科目)、組織とDNA・動物実験教育訓練(準正規科目)●●	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために●●●●●(AL)、医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-●●●●●(AL)		
		c. 生涯にわたり自ら研鑽できる医療の担い手になるために、ポートフォリオを用いた形成的自己評価の機会を設ける。		大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-●●●●●(AL)、海外保健福祉事情の発表会(準正規科目)		大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-●●●●●(AL)、英語講義1●、英語CALL1●、英語会話1●、英語会話2●、聖書英語1●、聖書英語2●、医学英語1●、医学英語2●、英語リスニング1●、英語リスニング2●、英語ライティング1●、英語ライティング2●、英語医療通訳入門1●、英語医療通訳入門2●、資格英語1●、資格英語2●、基礎英文法1●、基礎英文法2●、上級英語会話1●、上級英語会話2●、フランス語入門●、フランス語基礎●、ドイツ語入門●、ドイツ語基礎●、スペイン語入門●、スペイン語基礎●、中国語入門●、中国語基礎●、韓国語入門●、韓国語基礎●、海外保健福祉事情の報告会参加(準正規科目)		
	2 年 次	[CP1] a. 薬学の専門家として必要な知識・技能を修得するために、講義、演習、実習を相互に関連付けて科目を配置する。 b. 薬物治療の実践的能力を高めるために、知識・技能を統合した能動的学修を実施する。	薬学演習Ⅰ(AL)、分析化学Ⅱ、薬品物理化学Ⅱ、放射化学、生薬学、天然物化学、有機化学Ⅱ、有機化学Ⅲ、医薬品構造解析演習(AL)、生化学Ⅱ、分子生物学、細胞生物学、病原微生物学、解剖生理学Ⅱ、疾病と病態生理学Ⅰ、疾病と病態生理学Ⅱ、薬理学Ⅰ、薬理学Ⅱ、衛生化学Ⅰ、公衆衛生学Ⅰ、化学系薬学実習Ⅰ(AL)、化学系薬学実習Ⅱ(AL)、物理系薬学実習(AL)					
		[CP2] a. 問題発見から解決する能力および科学的根拠に基づいた論理的思考力を養うために、問題解決型学修(PBL)をはじめとする能動的学修を講義、演習、実習で実施する。また、参加型実践の科目として卒業研究を配置する。 b. 薬剤師として臨床での総合的実践能力を身につけるために、参加体験型学修である実務実習を行う。	薬学演習Ⅰ(AL)、化学系薬学実習Ⅰ(AL)、化学系薬学実習Ⅱ(AL)、物理系薬学実習(AL)、ポランディア実践(AL)、医療データサイエンスⅠ(AL)、医療データサイエンスⅡ(AL)					
		[CP3] a. 医療人としてのコミュニケーション能力を養成するために、ロールプレイを含む参加型実習を行う。 b. 薬剤師の役割を理解するために、他職種との連携教育を実施する。		コミュニケーション実習●●●●(AL)				
		[CP4] a. 薬剤師としての使命感・倫理観・責任感および豊かな人間性を涵養するために、スモールグループディスカッション(SGD)等を含めた講義、演習、体験実習を配置する。 b. 国際的な感覚を養うために、世界の保健福祉事情に触れ、語学能力を高める機会を設ける。			関連職種連携講●			
					関連職種連携講●	ポランディア実践(AL)		
		c. 生涯にわたり自ら研鑽できる医療の担い手になるために、ポートフォリオを用いた形成的自己評価の機会を設ける。		海外保健福祉事情Ⅰ、海外保健福祉事情Ⅱ●●(AL)		英語講義2●、英語CALL2●、英語講義3●、英語講義4●、英語会話1●、英語会話2●、英語会話3●、英語会話4●、聖書英語1●、聖書英語2●、医学英語1●、医学英語2●、英語リスニング1●、英語リスニング2●、英語ライティング1●、英語ライティング2●、英語医療通訳入門1●、英語医療通訳入門2●、資格英語1●、資格英語2●、基礎英文法1●、基礎英文法2●、上級英語会話1●、上級英語会話2●、フランス語入門●、フランス語基礎●、ドイツ語入門●、ドイツ語基礎●、スペイン語入門●、スペイン語基礎●、中国語入門●、中国語基礎●、韓国語入門●、韓国語基礎●、韓国語応用●、韓国語発展●、海外保健福祉事情Ⅰ、海外保健福祉事情Ⅱ●●(AL)		
							コミュニケーション実習●●●●(AL)、関連職種連携講●、各種選択科目、チューター面談(準正規科目)	

		ディプロマ・ポリシー(DP)						
		【DP1】 薬学に関する基礎および専門的な知識・技能をバランスよく有している。	【DP2】 問題の発見から解決までの一連のプロセスの中で、必要な情報を収集し、科学的根拠に基づき、論理的に考え、行動できる。	【DP3】 医療人としての人間理解、国際的感覚を養い、相手に寄り添ったコミュニケーションを実施できる。	【DP4】 薬剤師としての使命感・倫理観・責任感を養い、他職種との連携を通して薬剤師の役割を理解、実践できる。	【DP5】 保健・医療・福祉について、日本にとどまらず世界の情勢を広く理解し、地域に貢献する姿勢と実践能力を有している。	【DP6】 医療の担い手として幅広い教養と豊かな人間性を育み、生涯にわたって自他ともに研鑽しあえる姿勢および意欲を有している。	【DP7】 生命科学的知識および研究マインドを基に、薬物療法を実践する能力を有している。
カリキュラム・ポリシー（C P）	3 年 次	【CP1】 a. 薬学の専門家として必要な知識・技能を修得するために、講義、演習、実習を相互に関連付けて科目を配置する。 b. 薬物治療の実践的能力を高めるために、知識・技能を統合した能動的学修を実施する。	薬学演習Ⅱ (AL)、分析化学Ⅲ、日本薬局方Ⅰ、免疫学、化学療法学、薬理学Ⅲ、薬理学Ⅳ、がん薬物療法学、ゲノム医療、OTC医薬品概論 (AL)、漢方医学Ⅰ、医薬品情報学Ⅰ (AL)、分子生物学実習 (AL)、免疫微生物学実習 (AL)、生物系薬学実習 (AL)、物理薬理学、薬物動態学、製剤設計とDDS (AL)、衛生化学Ⅱ、環境衛生学、公衆衛生学Ⅱ、衛生系薬学実習 (AL)、臨床薬学Ⅰ (AL)、生物有機化学、医療関連法規Ⅰ (AL)					
		【CP2】 a. 問題発見から解決する能力および科学的根拠に基づいた論理的思考力を養うために、問題解決型学修 (PBL) をはじめとする能動的学修を講義、演習、実習で実施する。また、参加型実践的科目として卒業研究を配置する。 b. 薬剤師として臨床での総合的実践能力を身につけるために、参加体験型学修である実務実習を行う。	関連職種連携ワーク (AL)、薬学演習Ⅱ (AL)、薬学演習Ⅲ (AL)、分子生物学実習 (AL)、免疫微生物学実習 (AL)、生物系薬学実習 (AL)、衛生系薬学実習 (AL)					
		【CP3】 a. 医療人としてのコミュニケーション能力を養成するために、ロールプレイを含む参加型実習を行う。 b. 薬剤師の役割を理解するために、他職種との連携教育を実施する。		関連職種連携ワーク (AL)、薬学演習Ⅲ (AL)	関連職種連携ワーク (AL)、薬学演習Ⅲ (AL)			
		【CP4】 a. 薬剤師としての使命感・倫理観・責任感および豊かな人間性を涵養するために、スモールグループディスカッション (SGD) 等を含めた講義、演習、体験実習を配置する。 b. 国際的な感覚を養うために、世界の保健福祉事情に触れ、語学能力を高める機会を設ける。 c. 生涯にわたり自ら研鑽できる医療の担い手になるために、ポートフォリオを用いた形成的自己評価の機会を設ける。			関連職種連携ワーク (AL)、薬学演習Ⅲ (AL)、組織系DNA・動物実験教育訓練 (準正規科目) (AL)	臨床薬学Ⅰ、薬学演習Ⅲ (AL)		
				薬学演習Ⅲ (AL)、OTC医薬品概論		薬学演習Ⅲ (AL)、英語医療通訳入門Ⅰ (AL)		
							関連職種連携ワーク (AL)、薬学演習Ⅲ (AL)、各種選択科目、オリエンテーション(1年生との交流会) (準正規科目)、チューター面談(準正規科目)	
		【CP1】 a. 薬学の専門家として必要な知識・技能を修得するために、講義、演習、実習を相互に関連付けて科目を配置する。 b. 薬物治療の実践的能力を高めるために、知識・技能を統合した能動的学修を実施する。	医薬品構造化学Ⅰ、医薬品情報学Ⅱ、医薬品安全性学 (AL)、臨床検査医学、薬物治療学Ⅰ、薬物治療学Ⅱ、臨床薬物動態学、医療関連法規Ⅱ、医療データサイエンス概論 (AL)、実務実習事前演習 (AL)、臨床薬学Ⅱ、臨床薬学Ⅲ (AL)、臨床薬学Ⅳ (AL)、医療系薬学実習Ⅰ (AL)、医療系薬学実習Ⅱ (AL)、医療系薬学実習Ⅲ (AL)、フィジカルアセスメント実習 (AL)、薬剤学実習 (AL)、漢方医学Ⅱ					
		【CP2】 a. 問題発見から解決する能力および科学的根拠に基づいた論理的思考力を養うために、問題解決型学修 (PBL) をはじめとする能動的学修を講義、演習、実習で実施する。また、参加型実践的科目として卒業研究を配置する。 b. 薬剤師として臨床での総合的実践能力を身につけるために、参加体験型学修である実務実習を行う。	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識 (AL)、臨床薬学Ⅳ (AL)、実務実習事前演習 (AL)、医療系薬学実習Ⅰ (AL)、医療系薬学実習Ⅱ (AL)、医療系薬学実習Ⅲ (AL)、フィジカルアセスメント実習 (AL)、薬剤学実習 (AL)、医療データサイエンス概論 (AL)、電子カルテシステム入門 (AL)					医療データサイエンス概論 (AL)、臨床薬学Ⅲ (AL)、臨床薬学Ⅳ (AL)、医療系薬学実習Ⅰ (AL)、医療系薬学実習Ⅱ (AL)、医療系薬学実習Ⅲ (AL)、研究マインド養成講座 (準正規科目)
		【CP3】 a. 医療人としてのコミュニケーション能力を養成するために、ロールプレイを含む参加型実習を行う。 b. 薬剤師の役割を理解するために、他職種との連携教育を実施する。		臨床薬学Ⅲ (AL)、臨床薬学Ⅳ (AL)、医療系薬学実習Ⅰ (AL)、医療系薬学実習Ⅲ (AL)	臨床薬学Ⅲ (AL)、臨床薬学Ⅳ (AL)、電子カルテシステム入門 (AL)			
		【CP4】 a. 薬剤師としての使命感・倫理観・責任感および豊かな人間性を涵養するために、スモールグループディスカッション (SGD) 等を含めた講義、演習、体験実習を配置する。 b. 国際的な感覚を養うために、世界の保健福祉事情に触れ、語学能力を高める機会を設ける。 c. 生涯にわたり自ら研鑽できる医療の担い手になるために、ポートフォリオを用いた形成的自己評価の機会を設ける。			医療関連法規Ⅱ、臨床薬学Ⅲ (AL)、臨床薬学Ⅳ (AL)、実務実習事前演習 (AL)、研究倫理講習 (準正規科目) (AL)	臨床薬学Ⅲ (AL)、臨床薬学Ⅳ (AL)		
	4 年 次			臨床薬学Ⅳ (AL)		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識 (AL)、臨床薬学Ⅳ (AL)		
							我が国の社会福祉・医療保障政策の知識 (AL)、各種選択科目、チューター面談(準正規科目)	

		ディプロマ・ポリシー(DP)						
		【DP1】 薬学に関する基礎および専門的な知識・技能をバランスよく有している。	【DP2】 問題の発見から解決までの一連のプロセスの中で、必要な情報を収集し、科学的根拠に基づき、論理的に考え、行動できる。	【DP3】 医療人としての人間理解、国際的感覚を養い、相手に寄り添ったコミュニケーションを実施できる。	【DP4】 薬剤師としての使命感・倫理観・責任感を養い、他職種との連携を通して薬剤師の役割を理解、実践できる。	【DP5】 保健・医療・福祉について、日本にとどまらず世界の情勢を広く理解し、地域に貢献する姿勢と実践能力を有している。	【DP6】 医療の担い手として幅広い教養と豊かな人間性を育み、生涯にわたって自他ともに研鑽しあえる姿勢および意欲を有している。	【DP7】 生命科学的知識および研究マインドを基に、薬物療法を実践する能力を有している。
カリキュラム・ポリシー（CP）	5 年 次	【CP1】 a. 薬学の専門家として必要な知識・技能を修得するために、講義、演習、実習を相互に関連付けて科目を配置する。						
		b. 薬物治療の実践的能力を高めるために、知識・技能を統合した能動的学修を実施する。						卒業研究 ● ● ● (AL)
		【CP2】 a. 問題発見から解決する能力および科学的根拠に基づいた論理的思考力を養うために、問題解決型学修（PBL）をはじめとする能動的学修を講義、演習、実習で実施する。また、参加型実践の科目として卒業研究を配置する。	卒業研究 ● ● ● (AL)					
		b. 薬剤師として臨床での総合的実践能力を身につけるために、参加体験型学修である実務実習を行う。	薬局実務実習 ● ● ● ● (AL)、病院実務実習 ● ● ● ● (AL)、関連職種連携実習 ● ● ● ● (AL)					薬局実務実習 ● ● ● ● (AL)、病院実務実習 ● ● ● ● (AL)、関連職種連携実習 ● ● ● ● (AL)
		【CP3】 a. 医療人としてのコミュニケーション能力を養成するために、ロールプレイを含む参加型実習を行う。		薬局実務実習 ● ● ● ● (AL)、病院実務実習 ● ● ● ● (AL)、関連職種連携実習 ● ● ● ● (AL)				
		b. 薬剤師の役割を理解するために、他職種との連携教育を実施する。			薬局実務実習 ● ● ● ● (AL)、病院実務実習 ● ● ● ● (AL)、関連職種連携実習 ● ● ● ● (AL)			
		【CP4】 a. 薬剤師としての使命感・倫理観・責任感および豊かな人間性を涵養するために、スモールグループディスカッション(SGD)等を含めた講義、演習、体験実習を配置する。			薬局実務実習 ● ● ● ● (AL)、病院実務実習 ● ● ● ● (AL)、関連職種連携実習 ● ● ● ● (AL)	薬局実務実習 ● ● ● ● (AL)、病院実務実習 ● ● ● ● (AL)、関連職種連携実習 ● ● ● ● (AL)		
		b. 国際的な感覚を養うために、世界の保健福祉事情に触れ、語学能力を高める機会を設ける。				薬局実務実習 ● ● ● ● (AL)、病院実務実習 ● ● ● ● (AL)、関連職種連携実習 ● ● ● ● (AL)		
		c. 生涯にわたり自ら研鑽できる医療の担い手になるために、ポートフォリオを用いた形成的自己評価の機会を設ける。					各種選択科目、就職懇談会(準正規科目)、卒業生との茶話会(準正規科目)、チューター面談(準正規科目)	
	6 年 次	【CP1】 a. 薬学の専門家として必要な知識・技能を修得するために、講義、演習、実習を相互に関連付けて科目を配置する。	日本薬局方Ⅱ、医薬品レギュラトリーサイエンス概論(AL)、医療データサイエンス演習(AL)、医薬品構造化学Ⅱ ● (AL)、薬物治療学Ⅲ ● (AL)、総合薬学演習Ⅰ ● ● ● (AL)、総合薬学演習Ⅱ ● ● ● ● (AL)、総合薬学演習Ⅱ ● ● ● ● (AL)、卒業研究 ● ● ● ● (AL)、先進臨床薬学実習 ● ● ● ● (AL)					
		b. 薬物治療の実践的能力を高めるために、知識・技能を統合した能動的学修を実施する。						医薬品レギュラトリーサイエンス概論(AL)、医療データサイエンス演習(AL)、薬物治療学Ⅲ ● (AL)、医薬品構造化学Ⅱ ● (AL)、総合薬学演習Ⅰ ● ● ● (AL)、総合薬学演習Ⅱ ● ● ● ● (AL)、卒業研究 ● ● ● ● (AL)、先進臨床薬学実習 ● ● ● ● (AL)
		【CP2】 a. 問題発見から解決する能力および科学的根拠に基づいた論理的思考力を養うために、問題解決型学修（PBL）をはじめとする能動的学修を講義、演習、実習で実施する。また、参加型実践の科目として卒業研究を配置する。	医薬品レギュラトリーサイエンス概論(AL)、医療データサイエンス演習(AL)、薬物治療学Ⅲ ● (AL)、医薬品構造化学Ⅱ ● (AL)、総合薬学演習Ⅰ ● ● ● (AL)、総合薬学演習Ⅱ ● ● ● ● (AL)、卒業研究 ● ● ● ● (AL)、先進臨床薬学実習 ● ● ● ● (AL)					
		b. 薬剤師として臨床での総合的実践能力を身につけるために、参加体験型学修である実務実習を行う。	先進臨床薬学実習 ● ● ● ● (AL)					先進臨床薬学実習 ● ● ● ● (AL)
		【CP3】 a. 医療人としてのコミュニケーション能力を養成するために、ロールプレイを含む参加型実習を行う。		先進臨床薬学実習 ● ● ● ● (AL)				
		b. 薬剤師の役割を理解するために、他職種との連携教育を実施する。			先進臨床薬学実習 ● ● ● ● (AL)			
		【CP4】 a. 薬剤師としての使命感・倫理観・責任感および豊かな人間性を涵養するために、スモールグループディスカッション(SGD)等を含めた講義、演習、体験実習を配置する。			総合薬学演習Ⅰ ● ● ● ● (AL)、総合薬学演習Ⅱ ● ● ● ● (AL)、先進臨床薬学実習 ● ● ● ● (AL)			
		b. 国際的な感覚を養うために、世界の保健福祉事情に触れ、語学能力を高める機会を設ける。						
		c. 生涯にわたり自ら研鑽できる医療の担い手になるために、ポートフォリオを用いた形成的自己評価の機会を設ける。					各種選択科目、就職懇談会(準正規科目)、卒業生との茶話会(準正規科目)、チューター面談(準正規科目)	

薬学部 薬学科 履修系統図【2025(令和7)年度入学生から】

ディプロマ・ポリシー

薬学課程では所定の内容を修得し、次に掲げる学生の特性を考慮した学科ディプロマポリシーを達成した学生に学位を授与する。

- DP1: 薬学に関する基礎および専門的な知識・技能をバランスよく有している。
- DP2: 問題の発見から解決までの一連のプロセスの中で、必要な情報を収集し、科学的根拠に基づき論理的に思考・行動できる。
- DP3: 医療への見方として、人間理解・国際的感覚を養い、自らに寄り添ったコミュニケーションを実施できる。
- DP4: 医療師を目指すとして、使命感・倫理観・責任感を涵養し、他職種との連携を通じて薬剤師の役割と責任を、実践できる。
- DP5: 保健・医療・福祉について、日本にとどまらず世界の動向を広く理解し、地域に貢献する姿勢・実遂能力を有している。
- DP6: 医療の担い手を目指すとして、幅広い教養と豊かな人間性を育み、生涯にわたって自己と社会とに研鑽しあえる姿勢および意欲を有している。
- DP7: 生命科学的知識および研究マインドを幅広く、薬物療法に実関する能力を有している。

カリキュラム・ポリシー

薬学科では教育目標を学生が達成できるように、次の方針に則り教育課程を構成・実施する。

CP1: a.薬学の専門家として必要な知識・技能を修得するために、講義、演習、実習を相互に関連付けて科目を配置する。
b.薬物治療の実践的能力を高めるために、知識・技能を統合した能動的学習を実施する。

CP2: a.問題発見から解決する能力および科学的根拠に基づいた論理的思考力を養うために、問題解決型学習(PBL)をはじめとする能動的学習を講義、演習、実習で実施する。また、参加型実践的科目として卒業研究を配置する。
b.薬剤師として臨床での総合的実践能力を身につけるために、参加体験型学習である実務実習を行う。
c.医療人としてのコミュニケーション能力を養成するために、ロールプレイを含む参加型実習を行う。

CP3: a.薬剤師の役割を理解するために、他職種との連携教育を実施する。

CP4: a.薬剤師としての使命感・倫理観・責任感および豊かな人間性を涵養するために、スモールグループディスカッション(SGD)等を含めた講義、演習、体験実習を配置する。
b.国際的な感覚を養うために、世界の保健福祉事に触れ、語学能力を高める機会を設ける。
c.生涯にわたって自ら研鑽できる医療の担い手になるために、ポートフォリオを用いた形成的自己評価の機会を設ける。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学習到達度を評価して判断する。

- :ヒューマニズム教育 (AL):アクティブラーニングを含む
 ●:医療倫理教育
 ●:語学教育
 ●:医療安全教育
 ●:問題解決能力醸成教育

